

奥多摩 西川 沢登り報告

【日時】 8月13日(日)

【天気】 曇りのち雨

【メンバー】 CL 柘植 SL 佐藤 山本(記)

【タイム】 東京駅ホーム待ち合わせ 6:53→JR 鳩ノ巣駅着 9:20→滝の下橋(入渓) 10:25→(西川遡行)
→登山道 13:00→鳩ノ巣駅 14:00→奥多摩の風 はとのす荘(入浴)～15:00

【内容】

お盆3連休は天気が悪かったが、13日の日曜はなんとか出かけられそうということで、柘植さんからの誘いメールに飛びつき参加させていただくことにした。柘植さんとは初対面だったのでお会いするのが楽しみだったし、SL 佐藤さんとは以前に山行を共にさせていただいたことがあったので安心して参加することができた。

東京駅 6:53 待ち合わせ、それから2時間程ウトウトしながら電車に揺られ、JR 鳩ノ巣駅に 9:02 着。土日に電車で遠出した経験がなく、JRに《休日おでかけパス》というものを教えていただき初めて知った。(フリーエリア内が乗り降り自由で2670円)

西川は鳩ノ巣駅の西を流れる川で、駅を出て左に進み鳩ノ巣溪谷方面に下ったのち西川沿いの林道に行く。曇り空だが蒸し暑く、林道歩きの40分で汗が噴き出した。

10:00 ぴったりに入渓点の滝の下橋に到着、沢支度をして10:25に入渓した。作業小屋の脇を抜け、クモの巣だらけの荒れた沢筋を、枝をかき分けながら進んで行く。わさび田の取水パイプやらネットやらが視界に入り、生活感漂う沢だ。なんだか子供の頃に〈探検〉と題して田舎の裏山を駆け回った時のことを思い出す。



西川へ向けて出発～！



林道左手にわさび田が見える



入渓地点・滝の下橋にて沢支度



この3人でいきます☆見慣れない組み合わせ・・・



苔むしてクモの巣だらけ♪



軽快に登っていく CL



やっぱり沢は涼しくて気持ちがいい。



5段の滝の下部にて。



2段目、中央を登る CL。



快適に登れる。楽しい♪



3段目は右岸を高巻く。か細いトラロープあり。



2ndはロープマンで。浮石だらけなので慎重に。



今回の核心部・滝の登攀にリウクしてそうな後姿



雨が降ってきて水量も多め。※



薄暗くて怖い・・・ここで事故も起きてるらしい



ハンマーをロープ伝いに降ろし、3rd佐藤さんへ

今回の核心部、8m滝は、ネット上の方の記録では右岸側を登り、滝の中央バンドで左岸側に移り高巻くような記述があったが、今回は水量が多かったため、上の写真※の辺りでCLがハーケンで支点を作り直登した。ハーケン使用を初めて目の当たりにし、思わず『かっこいい！！』と言ってしまった。3rdの佐藤さんもハーケン回収は初めてとのことだったが、スムーズに回収して登ってきていた。人工登攀技術の習得は夢でもある。実践の機会に備えて学びたいと思った。

さて、天気予報は終日曇りということだったが、予報は外れ、いよいよ本降りとなってきた。雨でなければ本仁田山を目指し、大休場尾根・もしくはゴンザス尾根経由で奥多摩駅に向かう予定であったが、最短距離で下山できる杉ノ殿尾根に詰め上げ、鳩ノ巣駅へと向かうことにした。登山道への詰めは雨でぬかるんでグズグズ、朽ちた倒木が大量にあり、とても歩きにくい斜面だった。30分ほど登ったところで登山道に合流した。登山道では、降水なしの予報を期待して登ったであろう登山者数名が同じようにずぶぬれになりながら下山していた。



登山道への詰め。歩きにくい～



なんだか視線が痛い気がする・・・

沢装備のまま下山し、場違いな小汚い3人組、はとのす荘に乗り込み入浴。とてもきれいな入浴施設だけあって、日帰り入浴料は1130円。だが、駅から5分の立地で、化粧水・乳液などのアメニティーも充実しており、浴槽もきれい。女性にうれしい温泉施設だ。最終受付が14:30で、15:00までの入浴なので注意。

さっぱりしたのち、駅前の小料理屋の外で生ビールで乾杯！
電車で来るとこれができるからいい。最高に楽しくおいしい時間に電車の時間をどんどん見送ってしまう・・・。16:40頃の電車で泣く泣く帰ることにした。

メンバーで協力しあって滝を突破したり、沢のつめで斜面をひーひー言いながら登ったり・・・やっぱり沢登りっていいなあと改めて実感した。柘植さん、佐藤さん、ありがとうございました！

記録：山本 晃子

